



## 情勢は緊迫しています。戦争法案反対行動に今立ち上がろう 福島県民医連 会長 北條徹

自民党谷垣幹事長は、7月15日に安保法制特別委員会の締めくくり総括質疑を実施したいと発言し、自民党安倍政権が、今週中に国会で採決強行をするという明確な意思を示しました。

全国の憲法学者の大部分が、今回の安保法制が憲法違反だ意思表示しており、いろんな世論調査でも、今国会でこの法案を採決する事に大部分の国民が反対しているという結果が出ているにもかかわらずです。

これは、国会で多数を取ったからと、あたかも白紙委任状を得たかのように、自分勝手な日本語にもならないような論理を

組み立てて、憲法違反の法案を通そうとしているのです。ナチスドイツの独裁者ヒトラー大統領が取った「全権委任法」の手法とまったく同じです。

結局は嘘だった大量破壊兵器を口実に、アメリカが自衛権を行使したのがイラク戦争でしたが、非戦闘地域に行ったはずの自衛隊がイラクに行った時でさえ、部隊の移動中に群衆に取り囲まれ、イラク人を殺傷する寸前までいった事実があった事が、国会質問などで明らかになっています。

す。今度は戦闘地域での、米軍などの弾薬や武器輸送を担当すると言うのですから、戦争に巻き込まれると考えるのが当然なのに、安倍晋三首相は、国民や自衛隊のリスクはかえって下がると強弁しています。

こんな、国民を欺く事を平気で言える首相の政権下で、憲法違反の戦争法案を絶対に成立させてはいけません。廃案しか選択肢は有りません。

福島県民の命と暮らしを守る福島県民医連職員の、緊急の行動を、心より呼びかけます。

## 国会議員地元事務所訪問を

福島県選出の国会議員15名(比例含む)に裏面の「要請書」を議員会館の事務所あて送っています。

地元の事務所訪問を行い、「戦争法案」に対して要請を行いましょ。

議員、政党のリストは各法人あて送りました。

16日・17日で集中して訪問しましょう。

**7.26戦争法案反対  
国会包囲行動に参加を  
午後2時～3時30分  
国会議事堂周辺  
代表派遣をお願いします**



18日に一斉に掲げることが提起されている「アベ政治を許さない」ポスター

## 6月県議会への請願結果速報

福島県民医連として6月福島県議会に請願した4件は、「自主避難者への避難先での住宅の無償提供の継続を求める」が継続審議となりましたが、あとの3件は不採択となりました。

不採択となったのは、「安全保障関連2法案の強行採決反対」と「介護報酬の引き上げを求める」意見書採択の2件と、「総合事業への市町村への支援」の1件です。

(報告 事務局 佐藤真弓)